

# 心に残る文化財子ども塾 松江市立来待小学校

## 1. 活動の概要

7月5日（金）、松江市立来待小学校の6年生19人と、「古代人の暮らしを体験してみよう！～来待地区周辺の遺跡と和同開珎作り～」の学習活動を同小教室及び理科室で行いました。

はじめにまず、来待小学校周辺の遺跡について、解説しました。特に、来待小学校周辺では縄文時代の落とし穴や石器が出土しているため、縄文時代の生活について学習しました。また、小学校周辺には良質な凝灰岩である来待石が産出しており、この来待石を利用した遺跡について学習をしました。学習時には実際に周辺で出土した遺物について解説しました。身近な文化財について理解や関心をもってもらうきっかけとなるように、実際に手に持ってもらう体験をしてもらいました。

周辺の遺跡に続き、古代のお金について学習をしました。当時の経済や铸造銭の製作方法について説明し、現代との違いやその理由について学習しました。

座学での学習後、学習内容をより理解してもらうため、実際に铸造銭製作の体験をしてもらいました。実際に遺跡から出土した铸造銭を手にもってもらい、重さを感じてもらうほか、鑄型への金属（低融点金属）の流し込みや鑄造後のバリ取りを体験しました。

## 2. 活動の様子



座学の様子



出土遺物の説明



铸造銭製作体験①



铸造銭製作体験②

### 3. 活動を終えて

#### 1) 児童の皆さんから

- お金づくりが楽しかった
- 小学校の近くにたくさん遺跡があってびっくりした
- 昔の物があつたことにおどろいた
- お金の作り方がわかってよかった
- 周辺の遺跡で出土した遺物についてもっと知りたくなった

#### 2) 担任の先生から

- 学校周辺の遺跡出土物についてあまり話を聞く機会がなかったので詳しくせつめいしていただいて良かった
- 和同開珎づくりについて児童達が意欲的に取り組める活動であり良かった

#### 3) 古代文化センターから

来待小学校周辺は、発掘調査が進んでおり、原始・古代頃の具体相がわかってきています。その中で、来待周辺は特徴的な歴史的環境を有しています。そういった歴史的環境を児童達が学んでくれて、関心をもってもらったことは良かったです。また、鑄造銭づくりについて、活動を熱心に取り組んでもらえて良かったです。